

# TurningPoint® AnyWhere

## ユーザー ガイド



**TurningPoint**  
AnyWhere

© 2009 Turning Technologies, LLC. 一部は Responsive Innovations, LLC および Microsoft Corporation.

本ドキュメントのいかなる部分も、Turning Technologies, LLC の明示的な書面による許可なしに、電子式であれ機械式であれ、いかなる形式またはいかなる手段でも、またいかなる目的でも、複製または転送することはできません。All rights reserved.

Turning Technologies, LLC, 255 West Federal Street, Youngstown, OH 44503 USA.

TurningPoint® は、Turning Technologies, LLC の登録商標です。本書で言及されている他の登録された製品名は、それぞれの会社により所有されています。

以下の法的声明は、本書で言及されている、レスポンス・カード RF、レスポンス・カード XL、レスポンス・カード XR、およびそれらのレシーバを含む、無線および XL/XR 赤外線トランスミッタおよびレシーバに適用されます。

#### **FCC の声明**

この製品は、FCC 規則のパート 15 に適合していることがテストおよび確認されています。運用は、以下の条件に従う必要があります。有害な干渉を生じさせてはなりません。また、希望しない動作を生じさせるような干渉であっても、干渉を受け入れられる必要があります。

この適合に責任を持つ当事者によって明示的に承認されたものでない変更や修正は、ユーザーがこの装置を運用する許可を無効にする場合があります。

#### **カナダの声明**

このクラス B デジタル機器は、カナダの ICES-003 に適合しています。

Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

## 技術要件 ..... 1

### TurningPoint AnyWhere のバージョン情報2

TurningPoint AnyWhere の概要 .....	2
TurningPoint AnyWhere のダウンロード方法 .....	3
TurningPoint AnyWhere のインストール方法 / 開き方 .....	3
TurningPoint AnyWhere 表示バー .....	4

## レスポンス デバイスの設定 ..... 5

無線または赤外線レスポンス・カードの設定方法 .....	6
ResponseWare の設定方法 .....	7
レスポンス デバイスのテスト方法 .....	8

## 参加者 ..... 9

参加者リストの作成方法 .....	9
参加者リストの読み込み方法 .....	11
参加者リストの編集方法 .....	11

## 質問リスト ..... 13

質問リストの作成方法 .....	13
質問リストの編集方法 .....	14
質問リストの読み込み方法 .....	14
質問リストを閉じる方法 .....	15

## 投票 ..... 16

基本的な投票の開始 / 停止方法 .....	16
読み込んだ質問リストへの投票方法 .....	17
実行中におけるカスタム質問の追加方法 .....	18
グラフ ウィンドウについて .....	19
パーセンテージの表示形式の変更方法 .....	19
正解の設定方法 .....	19

## セッション ..... 20

セッションの保存方法 .....	20
セッションのリセット方法 .....	21
前回のセッションを続ける方法 .....	21
接続情報の表示方法 .....	21
ResponseWare の参加者へのフィードバックの送信方法 .....	22
TurningPoint AnyWhere セッション ビューア .....	23
質問 .....	23
質問と回答の編集方法 .....	23
参加者 .....	24

<b>設定</b> .....	<b>25</b>
設定ウィンドウを開く方法 .....	25
[TurningPoint AnyWhere の設定] について .....	25
アプリケーション 設定 .....	26
プレゼンテーション .....	27
一般 .....	27
レスポンス デバイス .....	29
集計テスト .....	30
<b>レポート</b> .....	<b>31</b>
HTML レポート .....	31
レポートの生成方法 .....	31
レポートの保存方法 .....	32
スクリーンショット .....	33
スクリーンショットの抽出方法 .....	33
<b>LMS 統合</b> .....	<b>34</b>
LMS へのログイン方法 .....	34
参加者リストのインポート方法 .....	35
成績のエクスポート / 電子メールでの生徒の成績の送信方法 .....	35
<b>お問い合わせ</b> .....	<b>36</b>

# 技術要件

- IR レシーバの RF またはアクティブな ResponseWare アカウントが必要
- Intel または AMD 600 MHz クラスのプロセッサ (1 GHz 以上を推奨)
- 256 MB の RAM
- 60 MB のハード ディスク スペース (Microsoft .NET Framework 2.0 をインストールしていない場合は、さらに 32 MB が必要)
- 解像度 1024 x 768、32 ビット カラー以上
- 標準の USB 1.1/2.0 ポート (USB ベースのハードウェア デバイス)
- Ethernet または 802.11 互換の無線ネットワーク カード \*

\*ResponseWare の使用時に必要

# TurningPoint AnyWhere のバージョン情報

## TurningPoint AnyWhere の概要

TurningPoint AnyWhere では、フリー ツールバーを使用して、ホワイトボード ソフトウェア、Web ブラウザ、PDF、Word ドキュメントなどのコンテンツから投票を行うことができます。ほかに準備は必要ありません。既存のプレゼンテーションや学習教材を利用できます。また、投票のために別のプログラムを変換する必要もありません。さらに、強力なレポート作成エンジンを使用して、グループや個人を簡単に評価および追跡することもできます。

以下のような機能があります。

- ・ フリー ツールバーにより、どの PC プログラムでも投票を実施できます。
- ・ どのプログラムが実行されているかに関係なく、いつでも投票を実行 / 終了できます。
- ・ 結果のグラフを重ね合わせまたは別のウィンドウとして表示できます。
- ・ フリー ツールバーを画面上部に配置すると、投票と他のプログラムを表示できます。
- ・ 参加者リストを作成して、個々のレスポンスを追跡できます。
- ・ 収集したレスポンスを保存して、後でレポートを生成できます。

---

## TurningPoint AnyWhere のダウンロード方法

確実に最新バージョンを入手するために、TurningPoint AnyWhere は Turning Technologies の Web サイトからダウンロードしてください。

### 操作手順

- 1 <http://www.turningtechnologies.com/groupresponsesystems/support/downloads.cfm> にアクセスします。
- 2 [TurningPoint AnyWhere for PC] をクリックします。
  - リリース ノートはダウンロード リンクの右側に PDF 形式で掲載されています。
- 3 必須の情報を入力して、[送信 (Submit)] をクリックします。
- 4 入力した電子メール アドレスに電子メールが届きます。この電子メールに TurningPoint AnyWhere の詳しいダウンロード手順が記載されています。

---

## TurningPoint AnyWhere のインストール方法 / 開き方

### 操作手順 実行可能ファイル (Setup.exe) の場合

- 1 Setup.exe をダブルクリックします。
- 2 画面のインストール手順に従います。
- 3 インストールが終了したら、デスクトップに配置されているショートカット アイコンをダブルクリックしてプログラムを開きます。

# TurningPoint AnyWhere 表示バー

- ・ [投票を開始 / 停止する] ボタンを使用して、投票の開始 / 終了のタイミングを制御できます。
- ・ [グラフ] ボタンを使用すると、レスポンスの受信に合わせて調整される動的なグラフを表示できます。
- ・ [レスポンス] および [フィードバック] 領域は、レスポンスまたはフィードバックを受信した日時を示します。
- ・ メインメニューにアクセスするには、表示バーの左下隅にある白い下向き矢印を使用します。
- ・ 右下隅にある [情報の表示 / 非表示] ボタンをクリックすると、[レスポンス] および [フィードバック] エリアが非表示になります。

# レスポンス デバイスの設定

この節では次の点について説明します。

- ・ *無線または赤外線レスポンス・カードの設定方法*
- ・ *ResponseWare の設定方法*

---

## 無線または赤外線レスポンス・カードの設定方法

### 操作手順

- 1 IR または RF レシーバを接続します。
- 2 表示バーの [メイン メニュー] ボタン (白い下向き矢印) をクリックします。
- 3 [ツール] にマウスを合わせ、[設定] を選択します。
- 4 左側のパネルから [レスポンス デバイス] を選択します。
- 5 RF レシーバの場合は、右側のパネルのドロップダウン メニューから **無線周波数チャンネル番号** を選択します。これは、無線レスポンス・カードのレシーバ デバイス番号の横にあります。IR レシーバの場合は、レシーバのシリアル番号がリストに表示されていることを確認します。
- 6 [終了] をクリックします。

### 次の手順

投票テストを実施して、デバイスが正しく設定されていることを確認します。

## ResponseWare の設定方法

以下の手順を完了するには ResponseWare アカウントが必要です。

**操作手順** TurningPoint AnyWhere 用に ResponseWare を設定するには

- 1 表示バーの [メイン メニュー] ボタン (白い下向き矢印) をクリックします。
- 2 [ツール] にマウスを合わせ、[ResponseWare] を選択します。
- 3 [サーバー アドレス] にサーバーのアドレスを入力します。
- 4 [ユーザー名] および [パスワード] にユーザー名とパスワードを入力します。
  - [情報を保存する] の横にあるチェック ボックスをオンにすると、アカウント情報が保存されます。
  - (オプション) ResponseWare をレンタルアカウントとして使用する場合は、[イベント コード] に入力します。ご使用の ResponseWare Web ライセンスの購入条件を参照してください。
- 5 [ログイン] をクリックします。

**注記** セッション ID が割り当てられます。この情報を出席者に伝える方法の詳細については、**接続情報の表示方法** on page 21 を参照してください。

- 初めてログインした場合は、ライセンス契約書が示されたウィンドウが表示されます。続行するには、これらの条件に同意する必要があります。
- 6 [閉じる] をクリックします。

### 次の手順

投票テストを実施して、デバイスが正しく設定されていることを確認します。

---

## レスポンス デバイスのテスト方法

### 操作手順

- 1 表示バーの [メイン メニュー] ボタン (白い下向き矢印) をクリックします。
- 2 [ツール] にマウスを合わせ、[設定] を選択します。
- 3 左側のパネルから [投票テスト] を選択します。
- 4 [テスト開始] をクリックします。
- 5 レスポンス・カードのボタンを押すか、ResponseWare からレスポンスを送信します。
- 6 接続設定が正しければ、デバイス ID とレスポンスが表示されます。

**注記** デバイス ID とレスポンスが表示されない場合は、Turning Technologies のカスタマサポートに連絡してサポートを依頼してください。

- 7 [テスト終了] をクリックして投票テストを完了します。
- 8 [完了] をクリックして [設定] ウィンドウを閉じます。

# 参加者

以下の節では次の点について説明します。

- 参加者リストの作成方法
- 参加者リストの読み込み方法
- 参加者リストの編集方法

---

## 参加者リストの作成方法

### 操作手順

- 1 表示バーの【メインメニュー】ボタン(白い下向き矢印)をクリックします。
- 2 【参加者】にマウスを合わせ、【参加者リストの作成】を選択します。
- 3 参加者リストテンプレートを選択します。

教育向け	幼稚園～高校および大学以降の教育用プレゼンテーションで使用されるスタンダードの生徒情報(名前、生徒IDなど)が含まれています。
企業向け	企業のフィードバック会議でよく使用される情報のフィールド(名前、会社名、電話番号など)が含まれています。
利用可能なフィールド	TurningPoint AnyWhereでの使用が定義されているすべての情報フィールドが含まれています。
空欄	参加者リストのフィールドを指定できます。
カスタム	保存したテンプレートまたは変更したテンプレートを選択できます。

- 4 【次へ】をクリックします。

左側のパネルにある利用可能なフィールドと、右側のパネルで選択したテンプレートに対応する選択されたフィールドがすべて画面に表示されます。

選択されたフィールドは以下のように編集することもできます。

- 左側でフィールドをダブルクリックして、右側のパネルの [ 選択されたフィールド ] の下に配置する
- 右側のパネルで選択されたフィールドをダブルクリックするか、フィールドをクリックして [-] をクリックし、リストからフィールドを削除する
- フィールドをクリックしてリスト内で上下にドラッグし、[ 選択されたフィールド ] リストの順序を入れ替える
- 目的のフィールドが左側のパネルのリストに表示されていない場合、[+] をクリックしてカスタム フィールドを追加する

5 [ 次へ ] をクリックします。

[参加者リストのサマリ] ページに参加者リストの名前 (デフォルトの時刻と日付のスタンプ) およびフィールド数が表示されます。

6 [ 名前 ] を選択して参加者リストに名前を付けます。

- フィールド番号をクリックするか、[ 戻る ] をクリックして、フィールド選択ウィンドウに戻ります。

7 [ 終了 ] をクリックします。

[参加者情報] ウィンドウが表示されます。

**Note** [デバイス ID] 列は自動的に参加者リストの最初の列として配置されます。このフィールドは各参加者に必須です。

8 フィールドを選択して参加者情報を入力します。

9 キーボードの **Enter** キーを押して次の行に移動します。

10 参加者情報をすべて入力するまで、手順 8 ~ 9 を繰り返します。

11 [ 終了 ] をクリックします。

参加者リスト情報が自動的に保存されます。

---

## 参加者リストの読み込み方法

### 操作手順

- 1 表示バーの【メインメニュー】ボタン(白い下向き矢印)をクリックします。
- 2 【参加者】>【参加者リストを読み込む】にマウスを合わせ、以下のいずれかを選択します。

自動	自動リストは、ResponseCard XR からデバイス ID やユーザー情報を収集してリアルタイムで参加者リストを作成する場合に選択します。
匿名	匿名リストは、参加者情報を追跡しない場合に選択します。
参照 ...	保存した参加者リストを選択してこのセッションで使用するには、【参照】をクリックします。

---

## 参加者リストの編集方法

### 操作手順

- 1 表示バーの【メインメニュー】ボタン(白い下向き矢印)をクリックします。
- 2 【参加者】にマウスを合わせ、【参加者リストの編集】を選択します。
- 3 【参加者リスト】を選択して【開く】をクリックします。
- 4 複数の選択オプションを使用できます。どのオプションも、ウィンドウの左下隅にある【参加者メニュー】ボタンか、またはメニューバーの【編集】ボタンからアクセスできます。
  - **フィールドの名前の変更** - フィールドを選択して【参加者メニュー】ボタンをクリックし、【フィールドの名前の変更】を選択します。表示されているボックスに新しい名前を入力して、【OK】をクリックします。
  - **フィールドの追加** - 【参加者メニュー】ボタンをクリックして【フィールドを追加する】を選択します。ドロップダウンリストからフィールドを選択するか、または表示されているボックスに新しいフィールドの名前を入力して、【追加】をクリックします。

- **参加者の追加** - 左端にあるグレーの領域で行番号をクリックして行を選択します。[参加者メニュー] ボタンをクリックして [参加者を追加する] を選択します。リストの選択行の下に空の行が追加されます。空のボックスに情報を入力して、新しい参加者情報を入力します。
- **フィールドの削除** - 削除するフィールドを選択します。列全体が強調表示されます。[参加者メニュー] ボタンをクリックして [フィールドの削除] を選択します。
- **参加者の削除** - グレーの領域で行番号をクリックして、参加者を選択します。Shift または Control キーを押しながら選択すると、複数の参加者を選択できます。[参加者メニュー] ボタンをクリックして [参加者を削除する] を選択します。
- **列の順番の入れ替え** - [参加者メニュー] ボタンをクリックして、[列の順番を入れ替える場合にオン] をオンにします。メニューにチェックマークが付きます。これで編集機能が制限されます。このオプションをオンにしても、フィールド名をクリックして目的の順番にドラッグすれば列を入れ替えることができます。列を入れ替えたら、もう一度 [参加者メニュー] ボタンをクリックして、[列の順番を入れ替える場合にオン] をオフにします。

## 5 参加者リストを保存します。

- 別の名前でリストを保存するには、[ファイル] をクリックして [名前を付けて保存] を選択します。リストに名前を付けて [保存] をクリックします。
- 元の名前のままリストを保存するには、[ファイル] をクリックして [保存] を選択します。

## 6 [終了] をクリックします。

**Note** [終了] をクリックすると、ユーザーが加えた変更はすべて自動的に保存されます。

# 質問リスト

質問リストを作成すると、TurningPoint AnyWhere をスタンドアロンの投票アプリケーションとして使用できます。

---

## 質問リストの作成方法

### 操作手順

- 1 表示バーの [メイン メニュー] ボタン (白い下向き矢印) をクリックします。
- 2 [質問] にマウスを合わせ、[新規質問リスト] を選択します。
  - 質問エディタが開きます。ウィンドウ上部全体に質問リストのオプションが一覧表示され、左側のパネルに質問が一覧表示されます。左側のパネルで質問を選択すると、右側のパネルに質問と回答が表示されます。
- 3 右側のパネル上部にあるボックスに**質問テキスト**を入力します。
- 4 表示されているボックスに**回答テキスト**を入力します。
  - 選択肢の横にあるドロップダウン メニューから [正解] を選択して、正解を割り当てます。その他の選択肢はすべて自動的に [不正解] として割り当てられます。
  - 選択肢の横にあるドロップダウン メニューから [正解] を選択して、複数の正解を割り当てることもできます。
  - 投票が終了した後で、正しい回答を次に表示する解答マークを適用するには、回答オプションの上のチェック ボックスをオンにします。解答マークは、個々の質問または質問リストのすべての質問に適用できます。
- 5 別の選択肢を追加するには、右側のパネル下部にある [選択肢の追加] をクリックします。
- 6 リストから選択肢を削除するには、選択肢の横にある [X] をクリックします。参加者が既に回答済みの選択肢を削除することはできません。また、リストの中央から選択肢を削除することもできません。
- 7 リストに別の回答を追加するには、ウィンドウ上部にある [質問の追加] ボタンをクリックします。
- 8 ウィンドウ上部にある [保存] ボタンをクリックして質問リストを保存します。

---

## 質問リストの編集方法

### 操作手順

- 1 表示バーの[メインメニュー]ボタン(白い下向き矢印)をクリックします。
- 2 [質問]にマウスを合わせ、[質問リストの編集]を選択します。
- 3 質問リスト(拡張子 TPQ または TPZ)を選択して、[開く]をクリックします。
- 4 既存のテキストを削除して新しいテキストを入力し、質問と回答テキストを編集します。
- 5 質問を削除するには
  - 左側のパネルのリストから質問を選択します。
  - ウィンドウ上部にある[質問の削除]ボタンをクリックします。
- 6 ウィンドウ上部にある[質問の追加]ボタンをクリックして、既存の質問またはセッションに質問または質問リストを追加します。
- 7 ウィンドウ上部にある[保存]ボタンをクリックして質問リストを保存します。

---

## 質問リストの読み込み方法

### 操作手順

- 1 表示バーの[メインメニュー]ボタン(白い下向き矢印)をクリックします。
- 2 [質問]にマウスを合わせ、[質問リストの編集]を選択します。
- 3 質問リスト(拡張子 TPQ または TPZ)を選択して、[開く]をクリックします。

---

## 質問リストを閉じる方法

### 操作手順

- 1 表示バーの[メインメニュー]ボタン(白い下向き矢印)をクリックします。
- 2 [質問]にマウスを合わせ、[質問リストを閉じる]を選択します。

# 投票

---

## 基本的な投票の開始 / 停止方法

### 操作手順 質問リストを使用しない投票の場合 ...

- 1 表示バーの **【投票の開始】** ボタンをクリックします。

**ヒント** [TurningPoint AnyWhere の設定] で、投票を開始するためのキーボードショートカットを指定できます。設定の詳細については、**設定 on page 25** を参照してください。

- [投票の開始] ボタンが [投票の停止] ボタンになります。
  - TurningPoint AnyWhere 表示バーの **【グラフ】** ボタンをクリックすると、受信したレスポンスに合わせて調整される動的なグラフが表示されます。グラフは、もう一度 **【グラフ】** ボタンをクリックするまで画面に表示されています。
- 2 TurningPoint AnyWhere が参加者からレスポンスを受信します。
  - 3 **【投票の停止】** ボタンをクリックして投票を終了し、参加者の結果を表示します。

**ヒント** グラフをオフにして、投票終了時に自動的に表示されないようにすることができます。このオプションは [TurningPoint AnyWhere の設定] にあります。設定の詳細については、**設定 on page 25** を参照してください。

---

## 読み込んだ質問リストへの投票方法

### 始める前に

質問リストに投票する前に、まず質問リストを作成して読み込む必要があります。詳細については、**質問リスト on page 13** を参照してください。

### 操作手順 質問リストを使用した投票の場合 ...

- 1 質問リストを読み込みます。**質問リストの読み込み方法 on page 14** を参照してください。
  - TurningPoint AnyWhere 表示バーの一部として質問が表示されます。
- 2 **[次へ]** および **[前へ]** ボタンを使用して、投票する質問を選択します。
- 3 **[投票の開始]** をクリックします。
  - PowerPoint のスライドショーと同じように、白い背景に質問が表示されます。質問の表示設定は TurningPoint AnyWhere の **[プレゼンテーションの設定]** で調整できます。詳細については、**プレゼンテーション on page 27** を参照してください。

**Note** 質問を非表示にするには、TurningPoint 表示バーの **[表示]** アイコンをクリックします。質問を再度表示するには、もう一度クリックします。**[表示]** アイコンは表示バーの右下隅にあり、プロジェクタ画面に似たデザインです。

- ウィンドウを縮小するには、質問画面の左下にある **[最大化 / 復元]** アイコンをクリックします。こうすると、質問画面を移動できるようになります。**[最大化 / 復元]** ボタンをもう一度クリックすると、ウィンドウは全画面モードに戻ります。
  - TurningPoint AnyWhere 表示バーを非表示にするには、質問画面の左下にある **[表示バー]** アイコンをクリックします。表示バーを再表示するには、もう一度 **[表示バー]** アイコンをクリックします。
- 4 **[投票の停止]** をクリックして結果を表示します。

- 質問リストの残りの質問に対して、手順 2～4 を繰り返します。

**Note** 質問リストの質問に再投票できます。[メインメニュー] ボタンをクリックして、[再投票] を選択します。質問への投票のたびに質問がレポートに表示されます。

## 実行中におけるカスタム質問の追加方法

読み込んだ質問リストを使用して投票中に、その場でカスタム質問を追加できます。

### 始める前に

質問リストに投票する前に、まず質問リストを作成して読み込む必要があります。詳細については、**質問リスト** on page 13 を参照してください。

### 操作手順

- 表示バーの [メインメニュー] ボタン ( 白い下向き矢印 ) をクリックします。
- [投票の開始] にマウスを合わせ、[カスタム] を選択します。
  - [質問のカスタマイズ] ウィンドウが表示されます。
- 質問テキストを [質問テキストの入力] ボックスに入力します。
- 回答テキストを [回答テキストの入力] ボックスに入力します。
- [挿入] をクリックします。
  - これでカスタム質問に投票できるようになります。

# グラフ ウィンドウについて

グラフ ウィンドウには 2 種類の編集オプションが用意されています。

この節では次の点について説明します。

- パーセンテージの表示形式の変更方法
- 正解の設定方法

---

## パーセンテージの表示形式の変更方法

### 操作手順

- 1 グラフ ウィンドウの左下隅にあるボタンをクリックします。
- 2 以下のいずれかを選択します。
  - 0% (パーセンテージ: 小数点以下なし)
  - 0.0% (パーセンテージ: 小数点以下 1 桁)
  - 0.00% (パーセンテージ: 小数点以下 2 桁)
  - 0 (絶対数)
- 3 手動で変更しない限り、選択したパーセンテージが表示されます。

---

## 正解の設定方法

### 操作手順

- 1 正解として設定する選択肢のバーを右クリックします。
- 2 **[回答 (#) を正解としてマーク]** を選択します。

**Note** 複数の回答を正解としてマークすることができます。

# セッション

この節では次の点について説明します。

- ・ セッションの保存方法
- ・ セッションのリセット方法
- ・ 前回のセッションを続ける方法
- ・ 接続情報の表示方法
- ・ ResponseWare の参加者へのフィードバックの送信方法

また、セッションビューアの機能についても説明します。

---

## セッションの保存方法

### 操作手順

- 1 表示バーの [メイン メニュー] ボタン (白い下向き矢印) をクリックします。
- 2 [セッション] にマウスを合わせ、[セッションの保存] を選択します。
  - Windows のダイアログ ボックスが開き、[TurningPoint AnyWhere の設定] で指定したデフォルトの保存場所が表示されます。デフォルトのセッション名は日付とタイム スタンプです。
- 3 ファイルに名前を付けて [保存] をクリックします。

**ヒント** 別の場所にセッションを保存することもできます。このためには、[保存先] ドロップダウンで場所を移動してから [保存] をクリックします。

---

## セッションのリセット方法

セッションをリセットすると、現在のセッションに関連付けられているレスポンス データはすべて削除されます。

### 操作手順

- 1 表示バーの [メイン メニュー] ボタン (白い下向き矢印) をクリックします。
- 2 [セッション] にマウスを合わせ、[セッションのリセット] を選択します。
- 3 保存されていないデータが検出された場合は、セッション データを保存するようメッセージが表示されます。
  - 表示バーのレスポンス数が 0 (ゼロ) に設定されます。

---

## 前回のセッションを続ける方法

保存したセッションを再開できます。新しいセッション データは開いているセッション ファイルに追加されるため、結果を 1 つのファイルに保存できます。

### 操作手順

- 1 表示バーの [メイン メニュー] ボタン (白い下向き矢印) をクリックします。
- 2 [セッション] にマウスを合わせ、[前回のセッションを続ける] を選択します。
  - Windows のダイアログ ボックスが開き、設定で指定したデフォルトの保存場所が表示されます。
- 3 目的のセッションを選択して [開く] をクリックします。

---

## 接続情報の表示方法

### 操作手順

- 1 表示バーの [メイン メニュー] ボタン (白い下向き矢印) をクリックします。
- 2 [表示] にマウスを合わせ、[接続情報] を選択します。

- [ 接続情報 ] ボックスに RF チャンネル番号および ResponseWare の情報 (TurningPoint AnyWhere が ResponseWare 用に設定されている場合) が表示されます。
- 3 [ 接続情報 ] ボックスを閉じるには、手順 1 と 2 を繰り返します。

---

## ResponseWare の参加者へのフィードバックの送信方法

参加者は投票の実行中にメッセージを送信したり、レスポンス・カードの ? ボタンを押したりすることができます。メッセージを受信すると、そのたびに表示バーの [ フィードバック ] セクションが 1 ずつ増えます。以下の手順では、フィードバックを表示して、ResponseWare の参加者に個別にまたはグループとして応答する方法について説明します。

### 操作手順

- 1 表示バーの [ メイン メニュー ] ボタン ( 白い下向き矢印 ) をクリックします。
- 2 [ 表示 ] にマウスを合わせ、[ フィードバック ] を選択します。
  - メッセージの履歴が上部のパネルに表示されます。
- 3 下部パネルにメッセージへのレスポンスを入力します。
- 4 [ メッセージの送信 ] ドロップダウン メニューから、すべてのデバイスにレスポンスを送信するか、それとも特定のデバイスにレスポンスを送信するかを選択します。
  - 特定のデバイスにレスポンスを送信するよう選択した場合は、ドロップダウン メニュー右側のテキストボックスにデバイス ID を入力する必要があります。
- 5 [ メッセージの送信 ] をクリックします。
  - ( オプション ) [ 履歴のクリア ] をクリックすると、すべてのメッセージを削除できます。

# TurningPoint AnyWhere セッション ビューア

セッション ビューアはリアルタイムのセッション エディタです。セッション ビューアを使用すると、投票した質問に質問テキストや回答テキストを追加したり、読み込んだ参加者リストをリアルタイムで編集したりすることができます。

セッション ビューアには以下の 2 つのリアルタイム編集オプションがあります。

- ・ **質問**
- ・ **参加者**

## 質問

質問画面は 2 つのパネルで構成されます。左側のパネルには、質問と、正解した参加者のパーセンテージが含まれます。右側のパネルには、質問と、左側のパネルで選択した質問の回答が含まれます。

---

## 質問と回答の編集方法

### 操作手順

- 1 左側のパネルで**質問**を選択します。
- 2 右側のパネル上部にあるボックスに**質問テキスト**を入力します。
- 3 表示されているボックスに**回答テキスト**を入力します。
  - 選択肢の横にあるドロップダウン メニューから [正解] を選択して、正解を割り当てます。その他の選択肢はすべて自動的に [不正解] として割り当てられます。
  - 選択肢の横にあるドロップダウン メニューから [正解] を選択して、複数の正解を割り当てることもできます。
- 4 別の選択肢を追加するには、右側のパネル下部にある [ **選択肢の追加** ] をクリックします。
- 5 リストから選択肢を削除するには、選択肢の横にある [X] をクリックします。参加者が既に回答済みの選択肢を削除することはできません。また、リストの中央から選択肢を削除することもできません。

## 参加者

セッション ビューアの [参加者] セクションでは、現在読み込まれている参加者リストを更新することができます。左側のパネルで参加者を選択すると、右側のパネルでそれらの参加者のレスポンスを参照できます。セッション ビューアの右下隅には、全体のパーセンテージと各参加者の合計ポイントが表示されます。

セッション ビューアの左下にある [参加者メニュー] ボタンを使用して、現在の参加者リストを編集します。詳細な手順については、11 ページの「[参加者リストの編集方法](#)」の手順 4 を参照してください。

# 設定

---

## 設定ウィンドウを開く方法

### 操作手順

- 1 表示バーの [メイン メニュー] ボタン (白い下向き矢印) をクリックします。
- 2 [ツール] にマウスを合わせ、[設定] を選択します。

## [TurningPoint AnyWhere の設定] について

設定ウィンドウは 2 つのパネルで構成されます。左側のパネルには設定カテゴリのリストが表示され、右側のパネルには各カテゴリの設定のリストが表示されます。左側のパネルでカテゴリをクリックすると、対応する設定が右側のパネルに表示されます。

## アプリケーション 設定

### アプリケーション 設定

設定	説明
ファイルの場所	この設定では、参加者リストとセッションのデフォルトの保存場所を指定できます。ネットワーク リソースをデフォルトの保存場所として指定することもできます。
言語	この設定では、表示する言語を指定できます。変更は設定ウィンドウを閉じた後に有効になります。

### ショートカット キー

設定	説明
投票を開始 / 停止する	この設定では、投票を開始 / 停止するためのキーボード ショートカットを指定できます。

### その他

設定	説明
吹き出しヒントを表示	この設定では、ステータス アイコンに吹き出しヒントを表示するかどうかを選択できます。
背景色	この設定では、TurningPoint AnyWhere の表示バーおよび他のウィンドウの背景色を設定できます。

## プレゼンテーション

### プレゼンテーション

説明	設定
質問と解答を表示	[はい]に設定すると、投票の実行中に質問と回答がプレゼンテーション形式で表示されます。
質問のフォント	この設定では、プレゼンテーションの質問のデフォルトのフォントタイプを選択できます。
回答のフォント	この設定では、回答のデフォルトのフォントタイプを選択できます。
全画面	[はい]に設定すると、質問と回答が全画面モードで表示されます。

## 一般

### 一般設定

設定	説明
結果の表示	[はい]に設定すると、投票終了時にグラフウィンドウが表示されます。
スクリーンショットを含める	[はい]に設定すると、投票終了時にコンピュータの画面のスクリーンショットが作成されます。スクリーンショットはセッションファイルと共に保存されます。
ステータス項目の表示	[はい]に設定すると、システムトレイにステータスアイコンが表示されます。

## グラフの設定

設定	説明
グラフのタイプ	この設定では、投票終了時に表示されるデフォルトのグラフ タイプを指定できます。
表示フォント	この設定では、グラフのラベルに使用するフォントを指定できます。
1 ～ 10 番目のグラフの色	この設定では、棒グラフの色を指定できます。

## 空白に入力スライド

設定	説明
結果数	この設定では、回答テーブルに表示する固有の値の数を指定できます。
その他の回答を含む	この設定では、キーワードで定義されている結果以外の結果を回答テーブルに表示するかどうかを指定できます。
テーブルのフォント	この設定では、空白入力スライドのテキストに使用するフォントを指定できます。

## レスポンス デバイス

### レスポンス デバイス一般

設定	説明
強制的にチャンネルを変更	[はい]に設定すると、レスポンス・カードの設定で設定されているチャンネルを保持できます。[いいえ]に設定すると、チャンネルは、レスポンス・カード RF レシーバで最後に使用したチャンネルにデフォルトで設定されます。
参加者リストを実行する	[はい]に設定すると、読み込んだ参加者リストに存在しない参加者からのレスポンスを除外できます。[いいえ]に設定すると、すべての参加者のレスポンスが受け付けられ、リストの末尾に追加されます。
ユーザー情報を上書きする	[はい]に設定すると、読み込んだ参加者リストの情報を ResponseCard XR のユーザー情報で上書きできます。[いいえ]に設定すると、ユーザー情報は、該当する情報が現在空白の場合にのみ書き込まれます。
無効なレスポンスのお知らせ	[はい]に設定すると、無効なレスポンスを選択したことを示す場合にはレスポンス・カードを数回赤く点灯させ、有効なレスポンスを選択したことを示す場合には緑に点灯させることができます。

レスポンス・カード  
のチャンネル

設定	説明
レシーバのシリアル 番号	レシーバをコンピュータに接続すると、シリアル番号とファームウェアバージョン番号が表示されます。ドロップダウンメニューを使用して、レシーバの無線周波数チャンネル番号を指定できます。

## 集計テスト

集計テストの実行方法の手順ごとの説明については、8 ページの「[レスポンス デバイスのテスト方法](#)」を参照してください。

# レポート

TurningPoint AnyWhere は、以下の異なる 2 種類のレポート作成オプションを備えています。

- **HTML レポート**
- **スクリーンショット**

## HTML レポート

---

### レポートの生成方法

#### 操作手順

- 1 表示バーの [メイン メニュー] ボタン (白い下向き矢印) をクリックします。
- 2 [ツール] にマウスを合わせ、[レポート] を選択します。
  - 左側のパネルには、保存したセッション ファイルと現在のセッション ファイルのリストが表示されます。レポートを生成するセッション ファイルがリストに表示されていない場合は、[セッションの読み込み] をクリックして、保存したセッション ファイルを参照します。これで [保存されたセッション] のリストにファイルが表示されるようになります。
- 3 左側のパネルでセッションを選択します。
- 4 [使用可能なレポート] ドロップダウン メニューから目的のレポートを選択します。

レポート	説明
個人結果	このレポートには、各質問に対する参加者のレスポンスと共に、質問テキストも表示されます。
個人得点	このレポートには、各質問に対する参加者のレスポンスと共に、質問テキストと参加者の得点も表示されます。

レポート	説明
質問別の結果	このレポートには、質問と回答テキストと共に、参加者の全体的なレスポンスも表示されます。
質問別の結果（スクリーンショットあり）	このレポートには、質問と回答テキストと共に、参加者の全体的なレスポンスも表示されます。さらに、各質問の下にデスクトップのスクリーンショットも表示されます。

- 5 レポートのハード コピーを印刷するには、[印刷] をクリックします。
  - Windows の [印刷オプション] が表示されます。もう一度 [印刷] をクリックしてレポートを印刷します。レポートを保存するには、32 ページの「[レポートの保存方法](#)」に従います。

---

## レポートの保存方法

### 操作手順

- 1 31 ページの「[レポートの生成方法](#)」の 1 ～ 4 の手順に従います。
- 2 [保存] をクリックします。
- 3 [HTML として保存] または [CSV として保存] を選択します。
  - HTML ファイルは Web ブラウザで開かれます。
  - CSV ファイルは Microsoft Excel で開かれます。CSV はテキストのみのファイルです。
- 4 保存場所を指定して、ファイルに名前を付けます。
- 5 [保存] をクリックします。

# スクリーンショット

---

## スクリーンショットの抽出方法

### 始める前に

セッション ファイルからスクリーンショットを抽出するには、セッションの開始前に [一般設定] の [スクリーンショットを含める] が [はい] に設定されている必要があります。

### 操作手順

- 1 表示バーの [メイン メニュー] ボタン (白い下向き矢印) をクリックします。
- 2 [ツール] にマウスを合わせ、[スクリーンショット] を選択します。
- 3 [参照 ...] をクリックしてセッション ファイルを選択します。
- 4 [参照 ...] をクリックして、スクリーンショットの抽出先フォルダを選択します。
- 5 [抽出] をクリックします。
- 6 確認ウィンドウで [OK] をクリックします。
- 7 [閉じる] をクリックします。その他のセッション ファイルからスクリーンショットを抽出する場合は、手順 3 ~ 6 を繰り返します。

**注記** 抽出先内にフォルダが作成されます。フォルダの名前は、**「[セッション名]のイメージ」** になります。セッションの各投票のスクリーンショットがここに保存されます。

# LMS 統合

TurningPoint AnyWhere は WebCT6/Vista および BlackBoard Learning Management Systems と統合します。これにより以下が可能になります。

- ・ 参加者リストのインポート
- ・ 成績のエクスポート / 電子メールでの生徒の成績の送信

---

## LMS へのログイン方法

### 操作手順

- 1 表示バーの [メイン メニュー] ボタン (白い下向き矢印) をクリックします。
- 2 [ツール] にマウスを合わせ、[統合] を選択します。
- 3 [Management System] ドロップダウン メニューから、[BlackBoard] または [WebCT 6/Vista] を選択します。
- 4 LMS のサーバー アドレスを入力して、[接続] をクリックします。
- 5 ドロップダウン メニューから [施設] を選択します。
- 6 ユーザー名とパスワードを入力して、[次へ] をクリックします。

**ヒント** チェック ボックス [この情報を保存して今後も使用] をオンにすると、[統合] ウィンドウを開くたびに情報を入力しなくても済みます。

---

## 参加者リストのインポート方法

### 始める前に

34 ページの「**LMS へのログイン方法**」の手順を完了する必要があります。

### 操作手順

- 1 [参加者リストのインポート]を選択して[次へ]をクリックします。
- 2 参加者リストのインポート先のコースを選択して、[終了]をクリックします。
- 3 参加者リストを**保存**します。
- 4 リストが正常に保存されたことを示す確認メッセージが表示されます。[OK]をクリックします。

### 次の手順

参加者リストの詳細については、9 ページの「**参加者**」を参照してください。

---

## 成績のエクスポート / 電子メールでの生徒の成績の送信方法

### 始める前に

34 ページの「**LMS へのログイン方法**」の手順を完了する必要があります。

### 操作手順

- 1 [成績のエクスポート / 電子メールでの生徒の成績の送信]を選択して、[次へ]をクリックします。
- 2 エクスポート先のコースを選択して、[次へ]をクリックします。
- 3 成績のアップロード元の**セッション ファイル**を選択します。
- 4 [すべての成績を WebCT/BlackBoard 成績帳に追加する]の横にあるボックスをオンにして、列のヘッダと最大値を割り当てます。
  - [WebCT/BlackBoard から個人結果を生徒に電子メールで送信する]の横にあるチェック ボックスをオンにして、自分の電子メール アドレスを入力することもできます。さらに、[共通メッセージを含める]オプションも使用できます。
- 5 [終了]をクリックします。

# お問い合わせ

Turning Technologies カスタマ サービス部では、類のない一流のテクニカル サポートを提供しています。

テクニカル サポートは月曜日～金曜日の午前 7 時～午後 9 時（東部標準時）までご利用になれます。

米国本土内からカスタマ サービスへご連絡いただく場合は、通話料無料の 1.866.746.3015 をご利用ください。

米国外からご連絡いただく場合は、+1330.746.3015 をご利用ください。

また、カスタマ サービスへは電子メール ([support@turningtechnologies.com](mailto:support@turningtechnologies.com)) でもお問い合わせいただくことができます。電子メールの場合は、2 営業日までにご返信させていただきます。